

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	日本赤十字活動促進事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び災害等困窮者	意図	人道的任務達成を目的に活動する、赤十字の活動を周知し、その活動を支援することにより、以って世界の平和と人類の福祉に貢献する					
事業内容	赤十字の博愛人道精神に基づき活動している、赤十字奉仕団の活動支援業務 ・赤十字が行う献血事業への協力 ・赤十字社の活動資金となる社資（寄付金）の募集運動への協力 ・救急法スクールの開催、炊き出し講習会の開催、一日赤十字の開催、防災訓練への協力、市民まつりへの参加等								
事業開始から現在までの状況変化	・赤十字に対するニーズの増加に伴い、高齢者支援や救急法講習会などの事業の充実を図っている。 ・団員の増員が進まないこと及び団員の高齢化により活動が負担になってきている。 ・景気低迷の影響により、社資（寄付金）募集に苦慮している。								

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	赤十字奉仕団団員数（ボランティア）	46	57	54	
②	社資（寄付金）	9,548	9,520	9,430,789	千円	↑↑↑	
③	炊き出し用大釜	5	5	5	基	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・事業が増加する中、新規入団者も少なく、団員の高齢化も進み、活動での負担が増加している ・平成25年度は、望まれていた男性団員が3名入団し、女性だけでは難しい、力仕事に対応できるようになった ・人口は増加しているが、社資（寄付金）は横ばいである
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,178,000	6,987,000	6,909,266			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		7,178,000	6,987,000	6,909,266			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	日赤奉仕団の事務局として、新規団員募集の事務を行う	③取り組みの課題	入団説明会により、一定の効果を果たことから、今後も計画的に実施していく
②今年度(H26)に実施した取り組み	日赤奉仕団の入団説明会を5月11日(土)実施し、結果、9名が入団した。	④今後の改善計画	計画的に団員募集活動を行っていく